

平成26年度活動報告

特定非営利活動法人
日本・中東医学協会

① イラク国立ナハレイン大学 脳神経外科研修

イラクにおける医療技術の向上に貢献するため、また、イラクと日本の医学における相互理解を深めることを目的として、当協会はイラク国立ナハレイン大学医学部生及び教職員を日本へ招聘し、脳神経外科研修を開催しました。

平成 26 年 9 月 8 日（月）から 13 日（土）まで、イラク国立ナハレイン大学 6 年次医学生 5 名、Dr. アミーア脳神経外科教授、Dr. ヤシール脳神経外科助教授、計 7 名の研修生は、当協会落合理事が名誉院長を務めておられます、NTT 東日本関東病院にて、最新手術法等につき熱心に勉強されました。

研修修了後、研修生より NTT 東日本関東病院 亀山院長、落合名誉院長及び川合脳外科部長を始めとする日本側の関係者へ、最新手術法の見学と日本の医療現場の視察をアレンジしてくれたことにつき、感謝のメッセージが贈られました。また、Dr. ヤシール助教授からは、より効率的にイラク全土における医療技術を向上させるためには、今回のような研修を継続的に実施し、且つイラク学会等の団体を介して、医学部生ではなく医師資格保有者をイラク全土より募集して、他診療科目にも応用できる研修プログラムへと改良を加えることにつき、同大学医学部長へ正式に報告されました。



研修初日@NTT 東日本関東病院 院長室

左より Ms. ハーラ、Ms. ハニーン、Ms. リヤム、Dr. ヤシール助教授、Dr. アミーア教授、武田事務長（NTT 東日本関東病院）、亀山院長（NTT 東日本関東病院）、川合脳神経外科部長（NTT 東日本関東病院）、Ms. デーナ、看護部長（NTT 東日本関東病院）、Ms. ハルラ



手術見学



検査室見学



当協会主催 歓迎会
ナハレイン大学より記念品の贈呈



修了式



駐日イラク大使館主催 送別会
上段中央 ハーシミ―駐日イラク大使閣下、Dr. アミール教授、Dr. ヤシール助教授

② イラク共和国保健副大臣 招聘

イラクにおける日本式医療の普及の一環及び保健医療分野におけるイラクと日本の更なる相互理解を深めることを目的として、当協会はDr. サッタール イラク保健省副大臣を団長として、同省の代表団を日本へ招聘しました。

平成 26 年 8 月 25 日、Dr. サッタール イラク保健省副大臣らは、当協会山本会長が顧問を務めておられます、日本私立学校振興・共済事業団 東京臨海病院への病院見学を行い、日本の高機能病院の運営につき学ばれました。その後、当協会会員（アイテック株式会社、株式会社島津製作所、豊田通商株式会社）他との医療交流会に参加されました。山本会長より、両国の医療従事者の医療・医学交流がイラクの医療水準の向上に貢献できるよう、期待する旨を発言され、また団体正会員らは、自社のイラクでの豊富な実績につき、アピールされました。

また、一行は来日中、日本国外務省国際協力局及び中東アフリカ局、及び独立行政法人国際協力機構（JICA）への表敬訪問を行い、駐日イラク大使館主催の夕食会にも出席されました。



東京臨海病院 画像診断機器見学



東京臨海病院 救急受付見学



駐日イラク大使館主催 夕食会
中央左より ハーシミー駐日イラク大使閣下、
Dr. サッタール イラク保健省副大臣

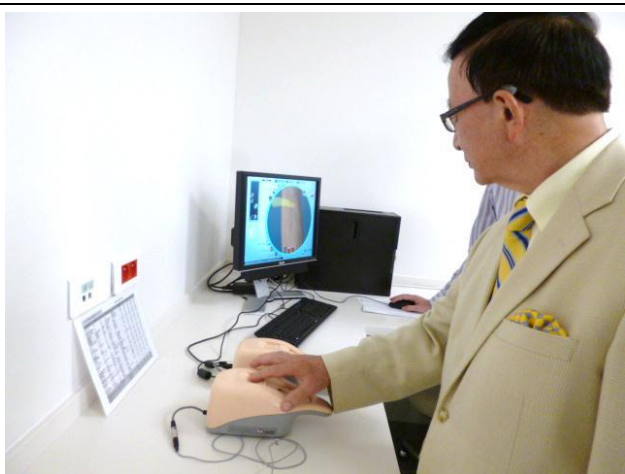


当協会主催 医療交流会
アイテック株式会社、株式会社島津製作所、豊田通商株式会社 他参加

③ トルコ私立アジバDEM大学 CASE 研修施設 山城理事視察

トルコにおける医療協力の可能性を調査することを目的に、またトルコにおける当協会の周知活動の一環として、平成 26 年 6 月 9 日、当協会 山城理事がイスタンブールに所在する、アジバDEM大学 CASE 研修施設を視察しました。

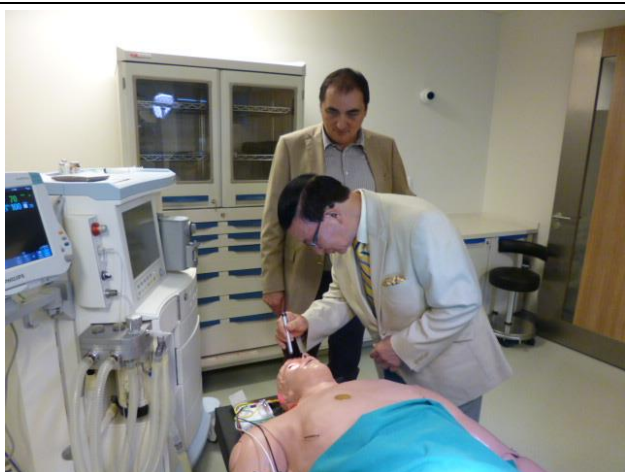
アジバDEM大学は、トルコ全土において 17 の病院及び診療所を運営する同国最大規模の民間病院グループであり、2007 年に設立されたばかりの新しい大学です。今回視察をした CASE 研修施設は、アジバDEM大学在学学生と院生、ならびにアジバDEMグループの傘下にある病院の医療従事者のスキルアップすることを目的に設立された施設です。CASE 研修施設では、マネキンを用いたトレーニングの他、ヒトの遺体や動物（ブタ、ラット等）を用いた医療研修を実施しており、施設内には診療室、ICU、救急部門、救急車、手術室等が再現されたエリアが用意されています。



右 山城理事



救急車内における救急救命を研修するための設備



マネキンを用いた研修設備（手術室）見学



マネキンを用いた研修設備（病棟）見学

④ トルコ共和国アジバDEM大学消化器内科教授 医療交流会

トルコにおける日本式医療の普及活動の一環及び保健医療分野におけるトルコ・日本の更なる相互理解を深めることを目的として、順天堂大学医学部消化器内科にて、内視鏡研修を目的として来日中のトルコ私立アジバDEM大学消化器内科教授2名、Dr. ムラット教授及びDr. バッティン教授との医学交流会を、平成26年8月6日に当協会が主催しました。

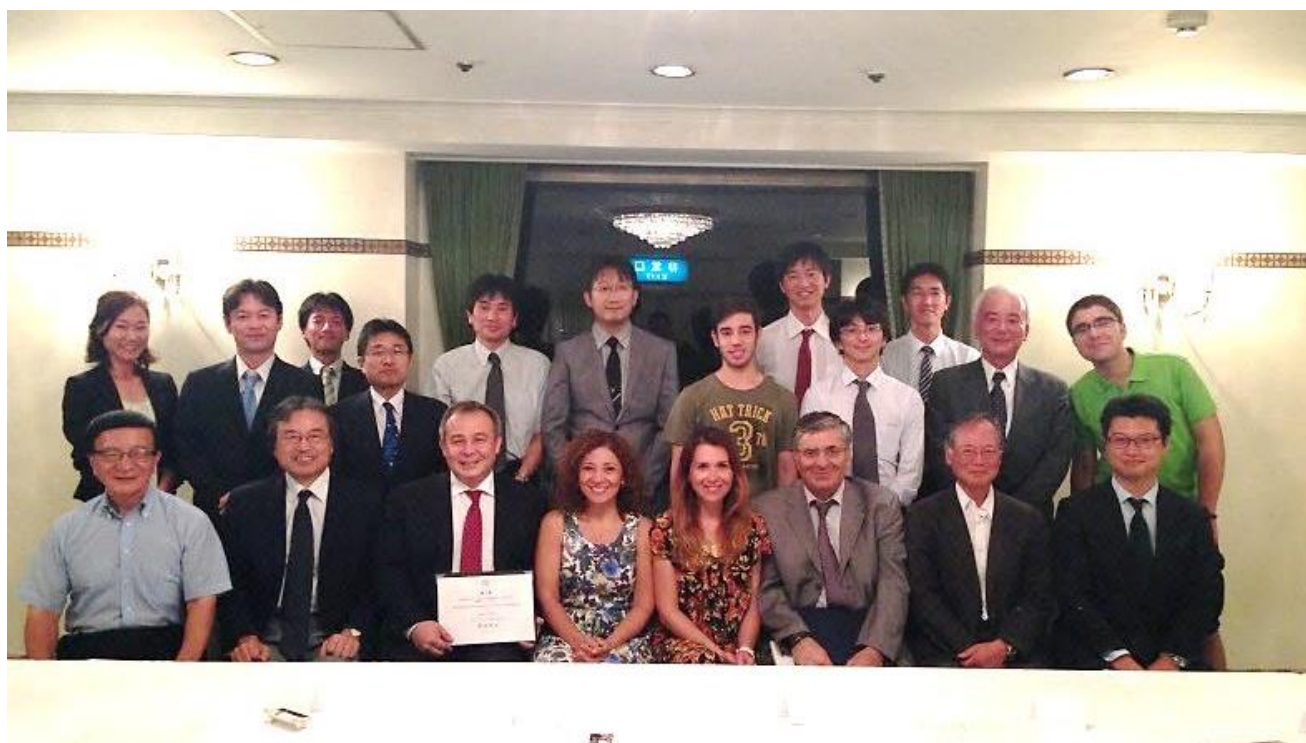
当協会からは、佐藤理事及び山城理事などが参加し、日本の医療技術や両国間の医療協力の可能性につき活発な意見交換が交わされました。



Dr. ムラット教授からのご挨拶



当協会会員からのご挨拶



集合写真

前列左より 山城理事、渡辺主任教授（順天堂大学医学部消化器内科）、Dr. ムラット教授と奥様、Dr. バッティン教授奥様と教授、佐藤理事、団体正会員アイテック株式会社 関社長